

平成30年度第2回霧島市男女共同参画審議会会議要旨

開催日時	平成30年11月19日(月) 13:30~15:10		
開催場所	国分公民館 3階 大研修室		
出席委員	藤山 光隆、竹下 幸治、山方 直文、久留 晃、長濱 市則、山下 佐和子 上村 由紀子、日高 嘉子、岩橋 恵子、宮原 明信、矢野 文子 (計11人)		
事務局	満留企画部長、永山企画政策課長、安楽男女共同参画推進グループ長、柳田主査		
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	0人
報告及び協議			
1 第1回男女共同参画審議会時の質問に対する回答について			
2 平成29年度男女共同参画に関する年次報告について			
3 第2次霧島市男女共同参画計画進行管理について			
審議結果等の概要			
1 説明事項			
(1) 「第1回男女共同参画審議会時の質問に対する回答について 事務局が資料1-1、資料1-2に沿って説明。委員からの主な意見			
② 乳がん検診オプション検査である超音波検査の費用4,500円は、若い世代(20代、30代)にとっては負担が大きい。市の助成があれば良いと感じる。			
(2) 平成29年度男女共同参画に関する年次報告について 報告書に沿って説明。委員からの主な意見並びに事務局の回答は次のとおり。			
② 「女性委員がいない附属機関等の数」が平成29年度末で2機関ある。			
① 5、6年かかってもゼロになっていないので、解消するのは無理なのではないか。 → ④ 「女性委員がいない附属機関等の数」は、後期計画策定時は6つあったが、女性委員登用を進め平成29年度末で4つ解消された。残りの2機関は当該分野の専門知識を有する女性委員の確保ができず未達成。(予防接種健康被害調査委員会等) 専門性の高い分野等は、新たな委員、特に女性をとれば一層難しいところがあるが引き続き、霧島市女性委員登用推進規程を適切に運用し、解消に取り組んでいく。			
② 「自治会加入率」が減少していることが気になる。これは、人と人とのつながりがどれだけ大切にされる街になっているかというメルクマールであるので、減少してきているのは、地域のつながりが希薄になってきている象徴と感じる。			
(3) 「第2次霧島市男女共同参画計画進行管理について 資料に沿って説明。委員からの主な意見並びに事務局の回答は次のとおり。			
② 第2次霧島市男女共同参画計画の中で、主な取組の1つにチャレンジデーへの参加や霧島スポーツまつりの記述がある。来年度から実施しないと聞いているが削除できないか。 → ④ 霧島市第2次男女共同参画計画は平成30年3月に策定され、その時点では実施されていた。2019年以降のチャレンジデーには参加しないことは平成30年10月に決定された。計画書から削除はできないが、ご指摘の点を踏まえ、事務局で精査していきたい。			
② 進行管理票では、主な取組の所管課が自己評価する欄を追加したらどうか。 → ④ 事務局で協議し判断したい。			